



福井県版
 治安維持法犠牲者同盟
 国家賠償要求同盟
 福井県本部
 〒918-8203
 福井市上北野2-9-15
 ☎0776-76-0836

同盟運動の前進と総選挙勝利めざし 第34回県本部総会開く

第34回県本部総会が8月22日、県教育センターで20名が参加して開かれました。最初に佐藤正雄県議会議員（共産党福井県委員会副委員長）に「原発と監視社会の危険」と題して講演をしていただき情勢学習をしました。

西村明宏県本部会長は、増本一彦中央本部会長のメッセージを紹介した後、総会議案（①情勢の特徴と同盟の役割、②前総会以後の活動と今後の方針案）を報告しました。

総△云議案の報告（要旨） 情勢の特徴と同盟の役割

◇新型コロナウイルス感染が急拡大し、東京では医療崩壊の危機が差し迫るなかで、厚生労働省の専門家組織「アドバイザリーボード」は「危機感を行政と市民が共有できていないことが最大の問題」と指摘しました。危機感を共有できていない責任は、コロナ危機のもとで五輪開催を強行するなど誤ったメッセージを出し続け、根拠のない楽観論を振りまく菅義偉首相にあります。

◇東京都議選の結果に示されたように、国民の中には、菅自公政権への怨嗟（えんさ）の声が広がっています。コロナ対応の大失敗を見ても、「自己責任」の冷酷非情な政治でも、強権と腐敗の政治という点でも、菅政権にもはや国政を担う資格はありません。

衆議院議員の任期満了が10月21日と迫っています。この総選挙で菅政権を倒し、政権交代をかちとり、新しい政権——野党連合政権を実現しなければなりません。そのための活動の発展が強く求められています。



総会で報告する西村明宏県本部会長

私たちの運動の基本
 ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
 一、治安維持法体制の復活に反対する
 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

前総会以後の活動と今後の方針について
 「2020年代」を私たち同盟は、正しい歴史認識の上から立つて「学習し、さらに行動する同盟へ」をめざします。

（1）戦争する国づくり・憲法改悪を許さない「市民と野党の共同」の一翼を担い、目前の衆議院選挙勝利のために奮闘する。

協力共同の党・候補者には、国賠同盟の請願3項目に賛同し、その実現のために「市民と野党の共同」の立場で協力を求める『要望書』（同盟中央本部会長と県本部会長連名）を届ける。

すべての同盟会員が、この選挙戦に参加し、協力共同の党・候補者の躍進・勝利のために奮闘しましょう。

（2）治安維持法犠牲者へ謝罪と賠償を実現する活動

治安維持法犠牲者への謝罪と賠償は、ふたたび戦争と暗黒政治を許さない証となるものです。そのために毎年国会請願署名に全力でとりくんで来ましたが、今年の国会請願行動はコロナ感染拡大のため関東近県を中心に代表団を組織して5月12日に行われ、県同盟が集約した団体署名46筆と個人署名503筆を代表団に託しました。

しかし、コロナ禍の影響で集会の中止や訪問活動の困難もあって、最近では最低の署名数にとどまりました。それでも、何人もの同盟員から10筆、20筆と意識的に集めた署名が県本部にとどけられています。こうした1人10筆の署名運動を全同盟員に広げて、県本部目標（100団体と個人署名2000筆）を今度こそ達成しましょう。

（3）犠牲者の名簿充実と先覚者を顕彰する活動

伊藤千代子の生涯を描く映画「わが青春つぎるとも」の製作・上映運動を成功させましょう。3月に原作者の藤田廣登さんを講師に「伊藤千代子学習講演会」を開催して、千代子の生き方と、今なお決着のついていない治安維持法犠牲者に国として謝罪と賠償を実現する私たちの運動が益々重要になっていることを学びました。

県同盟が民主団体に働きかけて「映画製作を支援する福井の会」を結成して映画の製作・上映運動を取り組んでいます。製作募金も約30万円寄せられています。県内数か所で行うため、さらに募金運動を強めましょう。これまでに「京都の山宣墓参ツアー」や「石川県の鶴彬史跡ツアー」などを行ってきましたが、来春は「伊藤千代子の故郷めぐり」（バスツアー）を計画したいと思います。

県内犠牲者名簿『弾圧に抗して平和と民主主義を求めた人々』を充実、増刷して、多くの人に治安維持法体制の実態を知らせることや仲間増やしの活動に生かしてきました。ひきつづき、県内犠牲者の発掘・調査をすすめ、名簿の充実と「歴史の記憶遺産」として後世に伝える取り組みをつよめます。

（二面に続く）

(4) 会員拡大と組織の確立・強化

県同盟はこの1年間で12名の新会員を迎えて過去最高の154名に到達しました。しかし亡くなられた方などもおられて、実増としては微増にとどまっています。

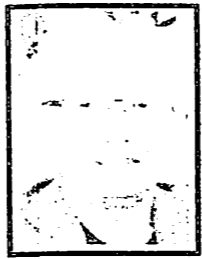
来年の全国大会までに複数の支部建設と200名の会員をめざします。さらに、2020年代の早い時期に300名の県同盟を実現しましょう。

各地に支部をつくり、同盟活動を発展させましょう。長野県同盟や新潟県同盟には多数の支部があり、支部中心の活動がすすめられています。

今年の一全国女性交流集会(10月24〜25日・湯河原)には代表を送り、女性部活動の強化をすすめましょう。

(5) 市民と野党の共同

「戦争する国づくり反対、福井総がかりアクション」が結



嵐山繁樹県同盟顧問が逝去
謹んで哀悼の意を表します

県同盟顧問・嵐山繁樹さんが8月23日に逝去。93歳。社会進歩と同盟運動の発展のために貢献されてこられた嵐山さんに謹んで哀悼の意を表します。

生前の嵐山さんを偲んで、映画「鶴彬・こころの軌跡」の福井上映会(2010年3月)を前にして、映画のロケ地を見学したときの嵐山さんのエッセイと川柳を紹介します。

映画『鶴彬・こころの軌跡』

嵐山繁樹

ロケ地・旧今立警察署留置場を見学

三月十一日、季節外れの淡雪が路肩に残っていたが薄い陽光が射した日だった。

「鶴彬・こころの軌跡」(神山征二郎監督)の撮影ロケ地となった越前市旧今立警察署の留置場を、上映実行委員会の松原信也さんに同行して見学に向いた。粟田部の現地に到着。それは池萬マーケットの隣、平屋倉庫が旧今立警察署の棟として残っていた。レジにおられた管理者と思われる奥さんらしい女性の好意ある許可を得て倉庫内に入る。

薄暗い中、大小のダンボール箱が積み重ねられており、手押し車などが保管されている。それは中程細い通りの奥、右側にあつた。昭和初期の留置場は現存していた。

間口、奥行き一間半、四畳半位の広さ、窓は前後に二つ、鉄網・鉄格子づくり、壁、床とも総板張り、厚さ二〇センチの鉄錠つき扉には、食事の出し入れ、連絡口の小窓つきだ。人間は、国家権力の名によって、この檻の中で家庭・社会から断絶され、極寒、灼熱にさらされ、『自由を奪われ一匹の動物にされる』のだ。

ここで、ロケにより撮影が行われた。留置場のセットを作らず、現存する戦前の生々しい警察留置場を見だし撮影した監督、スタッフの現実重視の態度に感動しました。

一九三二年(昭和七)八月、粟田部町、西野製紙工場の従業員

成されて、市民と野党の共同がすすめられています。革新懇や原発ゼロめざす金曜行動など平和と民主主義を求める共同闘争も発展しています。県同盟はこれらの闘争に積極的に参加し、「市民と野党の共同」の一翼を担う県同盟になりましょう。

西村会長の報告に続いて、山本貴美子さんから衆議院選候補者への「要望書」が提案されました。

討論では4人が発言。報告と討論のまとめを確認し、最後に新役員を選出して閉会しました。

△総会で選ばれた新役員▽

会長・西村明宏、副会長・松本朗、事務局長・村井慶三、事務局次長・日元久勝、幹事・近藤要、山本貴美子、会計監査・栄正夫、渡辺英二郎、顧問・元山章一郎

員約百名は、「盆休暇中の賃金支給」を要求。会社は指導者五名の誠首を断行したためストライキを決行。闘争状況のなか、組合員の一人は、二五メートルの煙突に登り、赤旗とメガホンで要求実現を叫び、滞空六〇時間のすごい抵抗もあつた。闘いは、要求実現、組合加入の自由、犠牲者をださないなどの協定を結び終了したが二カ月後、警察は、指導者、活動家を検挙投獄した。

一九二八年(昭和三)普通選挙法に基づく最初の総選挙で山本宣治らが当選した。福井県では労働党の田村仙之助委員長が立候補。演説会の解散、抗議する聴衆の検挙など激しい弾圧のなか、三千九七四票で当時予想以上と注目された。

泥酔、窃盗、傷害などの刑法犯以上に、労働・農民運動、無産政党運動の指導者、活動家が治安維持法、治安警察法の迫害、拷問をうけたが、信念を守り頑張った。この留置場あとに立つと、「権力に負けるな」「働くもの未来を信じよ」という声がかきこえてくる。(『続・明日を信じて』より)

川柳

嵐山繁樹

脳髄に刻む 歴史よ 檻おりの跡

加賀越前 貫く「彬」ひと 一筋道

鉄錠に 屈せぬ衆の 理想の重み

淡雪消え 闘史は残る 今立町

一九五八年十一月十九日 国鉄闘争で逮捕、福井刑務所に投獄される

まぶた 吾独房おひに 在り 五十年前